秋

五穀豊穣に感謝する行事が各地で行われます

この時期にしか見られない貴重な神楽も

10月

- 7日　古和釜のマアチ
- 14日　二宮神社の神楽（薬円台神明神社にて）
- 15日　高根町神明社の神楽
- 16日　二宮神社の神楽
- 18日以降の最初の土曜日　飯山満町神明神社の神楽
- 20日　奉納相撲/船橋大神宮の神楽
- 23日　飯山満町大宮神社の神楽
- 24日　高根町神明社の神楽（秋葉神社にて）

二宮神社境内にある大イチョウ。雌木で高さは25m、幹廻りは4.7mもあります。（財）船橋市緑の基金が平成2年に行った「名木コンクール」で選ばれた、船橋市の名木10選のうちの1本です

P85・C-4 古和釜町／八王子神社　見学自由

10月7日

古和釜の産土 八王子神社の祭礼

古和釜（こわがま）のマアチ

古和釜の八王子神社の祭礼は“マアチ”といわれ、通常は10月7日に行われますが、下総三山の七年祭り（県指定無形民俗文化財）に参加する年は“本マチ”といわれ、11月初旬に行われます。内容も通常・中年（なかどし）（次の七年祭りまでの中年）・七年祭で少しずつ異なります。

▲マアチの中心は八王子神社氏子の20～40代

通常年の例祭では、7日午前中に幟（のぼり）立て・神輿の飾りつけなどの準備を行い、終了後に神輿もみをします。従来はムラウチを神輿渡御していましたが、近年の担ぎ手不足もあって境内での神輿もみだけとなりました。

中年は、日程的には通常年と同じですが、神輿渡御は神社と古和釜十字路までの大通りを往復します。

七年祭りの年は前日に勢揃（せいぞろ）い、初日に神輿が三山へ出向き、神輿勢揃いと昇殿の儀に参加します。2日目には古和釜に戻り、神輿担ぎに協力した近隣のムラ（海老ケ作・坪井・楠が山・大穴・金堀）を神輿渡御、3日目には前日の残りのムラと古和釜町ムラウチを渡御します。

▲下総三山の七年祭り

所 船橋市古和釜町161　時 13:00～（※お問い合わせください）
☎ 047-436-2898（船橋市教育委員会 文化課）
交 JR船橋駅または新京成電鉄 北習志野駅からバスで「古和釜十字路」下車、徒歩8分

➡近隣で見られる文化財
❶石造自休大徳坐像（東光寺）……P64
❷俳人齋藤その女の墓（西光院）……P65

P81・D-4 三山／二宮神社 市指定無形民俗文化財 見学自由

10月16日

歴史ある神社で見る、無形民俗文化財

二宮神社の神楽

三山にある二宮神社は、創建を弘仁年間（810～824）にまでさかのぼるといわれる古社で、船橋市東部の代表的な神社です。二宮神社の神楽がいつ頃から伝えられているのかはよくわかっていませんが、古い装束のなかには「寛政十一未歳」（1799）や「天保八酉年」（1837）と墨で記されているものも保存されています。

"三座"の一つ、「翁舞」

神楽は年3回、1月15日、10月16日（例祭）に境内の神楽殿で、2月3日（節分祭）には社殿で演じられます。また、10月14日には薬円台神明神社でも行われます。

現在伝えられている神楽は、①みこ舞、②翁舞、③猿田舞、④神明舞、⑤天狐舞、⑥うずめ舞、⑦ひりこ舞、⑧おかめ舞、⑨宝剣打ち、⑩かとり舞、⑪源三位（ぬえ退治）、⑫玉取舞、⑬山神舞（餅なげ）、⑭大黒舞、⑮獅子舞、⑯鬼の舞、の計16座。

このうち、②翁舞、③猿田舞、④神明舞は"三座"と呼ばれ特に重要だとされ、⑭大黒舞、⑮獅子舞、⑯鬼の舞は節分祭でのみ演じられます。

二宮神社の神楽は関東地方に広く伝わる十二座神楽に属するものですが、神社に奉納する神事という厳粛な面と、祭礼における娯楽性という面をあわせもつ神楽です。

所 船橋市三山5-20-1　時 13:00～
☎ 047-436-2898（船橋市教育委員会 文化課）
交 JR津田沼駅北口から二宮神社行きバスで終点下車
指 平成7年6月26日

➡近隣で見られる文化財
❶齋藤その女等奉納句額（二宮神社）……P56
❷二宮神社社殿（二宮神社）……P57

P82・B-2 高根町／高根町神明社 市指定無形民俗文化財 見学自由

10月15日

1年に一度しか見られない「天の岩戸舞」が演じられる

高根町神明社の神楽

岩屋にかくれた天照大神を連れ出し、再び世の中を明るくする「天の岩戸舞」

10月15日の例祭で行われる神楽では、1年に一度、この日しか見ることのできない「天の岩戸舞」が行われます。

天の岩戸舞は、太陽神である天照大神が岩屋にかくれ世の中が暗くなってしまったので、天照大神を岩屋から連れ出し再び世の中を明るくするという神話を演じた舞です。舞の終盤では神楽殿を照らす照明が切られ、岩戸内は複数のロウソクのみで照らされます。このロウソクには言い伝えがあり、妊婦がお産のときに灯すと出産が軽くすむといわれています（ロウソクは短いほどいいとされています）。

神社の森に囲まれた神楽殿で夜行われる神楽は、厳粛な雰囲気につつまれています。

▲10月24日は秋葉神社でも奉納されます

所 船橋市高根町600　時 18:00～
☎ 047-436-2898（船橋市教育委員会 文化課）
交 JR船橋駅北口からグリーンハイツ行きバスで「高根小学校前」下車、徒歩15分
指 平成7年6月26日

➡近隣で見られる文化財
❶八十八ヶ所札所大絵馬（観行院）……P61
❷東葉高等学校正門……P63

P79・C-3 宮本／船橋大神宮 市指定無形民俗文化財（神楽） 見学自由

10月20日

徳川家康をもてなした子供相撲大会が始まり

奉納相撲／船橋大神宮の神楽

◀境内の土俵で行われる相撲大会

毎年10月20日に船橋大神宮で行われる「奉納相撲」。天正18年（1590）にこの地を訪れた徳川家康をもてなすために子供たちを集め、相撲を取る姿を見せたことが始まりだと伝えられています。現在では大人の取り組みへと発展していますが、現在でも最初の一番は必ず子供に取り組ませ、10月の別の日に子供相撲大会も行われています。

10月20日は船橋大神宮の例祭でもあり、本殿で神事が行われた後、境内の神楽殿で神楽が演じられます。船橋大神宮の神楽は一年に6回、元日、1月3日、節分祭、水神祭、例祭、12月の二の酉で演じられ、現在10座の舞が伝えられています。

このほか、船橋大神宮では10月1～5日に農具市が開催されています。

▲神楽殿で演じられた神楽の一つ、「蛭子舞」

所 船橋市宮本5-2-1
時 11：00～（奉納相撲の競技）、11：30～（神楽）
☎ 047-436-2898（船橋市教育委員会 文化課）
交 京成電鉄 大神宮下駅から徒歩3分
指 平成7年6月26日

➡近隣で見られる文化財

❶灯明台（船橋大神宮）……P43
❷西福寺石造五輪塔・西福寺石造宝篋印塔（西福寺）‥P42

P82・B-3 飯山満町／飯山満町神明神社 見学自由

10月18日以降最初の土曜日

神話を基に創作された古式豊かな神楽

飯山満町神明神社の神楽

飯山満町神明神社の神楽は年2回、3月初午と10月18日以降の最初の土曜日に行われ、10月に行われる神楽では、3月には舞われない「天岩戸（戸隠しの舞）」が演じられます。天岩戸は日本神話でおなじみの、天照大御神が岩戸に隠れ手力男命により引き出される話で、天岩戸が開かれ、中から天照大御神がゆっくりと歩み出る場面では、背後に太陽を表すロウソクが何十本も灯されます。

面と体の動きが面白い「ひょっとこ・ばりぐち（火男・張口の舞）」

神明神社の神楽は船橋大神宮（意富比神社）から伝えられたといわれ、はっきりしたことはわかっていませんが、100年ほど前から受け継がれていると考えられています。現在伝えられているのは、①神子・巫女（みこ舞）、②天狗（猿田彦命の舞）、③爺面（翁舞）、④狐（天狐舞）、⑤八幡太郎 義家（知乃利の舞）、⑥笹舞（天の宇津女の舞）、⑦小鍛冶の舞、⑧3人舞（三神の舞）、⑨ひょっとこ・ばりぐち（火男・張口の舞）、⑩恵比寿・お亀（蛭子舞）、⑪鬼・鐘馗、⑫天岩戸（戸隠しの舞）、の12座です。

▶12座目の「天岩戸（戸隠しの舞）」は、この日だけの演目

所 船橋市飯山満町1-639
時 18:00～
☎ 047-436-2898（船橋市教育委員会 文化課）
交 JR船橋駅からバスで「吹上」下車、徒歩すぐ

➡近隣で見られる文化財

❶八十八ヶ所札所大絵馬（能満寺）……P60
❷東葉高等学校正門……P63

P83・C-3 飯山満町／飯山満町大宮神社　市指定無形民俗文化財　見学自由

10月23日

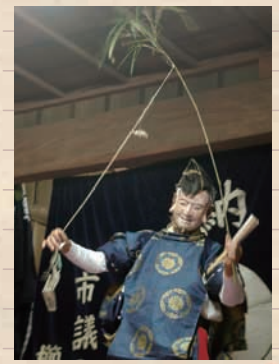
市内で唯一演じられている「神功皇后」の舞

飯山満町大宮神社の神楽

飯山満町大宮神社の神楽は、農業が盛んだった飯山満の地で五穀豊穣を願い、豊作に感謝して伝えられてきた神楽です。この神楽を伝えているのは、氏子からなる大宮神社神楽楽人の方たちです。

現在演じられている神楽は、①みこ舞、②天狗（猿田彦）、③八幡太郎（知之利）、④うすめ、⑤こかじ（住吉舞）、⑥翁、⑦神明（種蒔き）、⑧きつね（天狐）、⑨神功皇后、⑩ひょっとこ、⑪いびす様（蛭子）、⑫鬼・鐘馗（山神）、の12座。このうち⑨神功皇后は、市内では飯山満町大宮神社でしか演じられていない曲目です。使用する楽器と演奏者の人数は、大太鼓（鉦打太鼓）1人、小太鼓（締太鼓）1人、笛3人の計5人になります。

神楽の始められた年代ははっきりわかっていませんが、保存されている装束などへの墨書きから、江戸時代末期にはすでに演じられていたとみられています。



所 船橋市飯山満町2-843
時 17：00～
☎ 047-436-2898
（船橋市教育委員会 文化課）
交 東葉高速鉄道 飯山満駅から徒歩10分
指 平成7年6月26日

➡近隣で見られる文化財
❶八十八ヶ所札所大絵馬（能満寺）……P60
❷木造地蔵菩薩坐像（ゆるぎ地蔵）……P62

◀「いびす様（蛭子）」では、いびす様が釣りをする様子がひょうきんに演じられる

▶市内では飯山満町大宮神社でしか演じられていない「神功皇后」